

果がみとめられた。とくにヒルガオ、チドメグサに効果大である。芝生の薬害は葉先枯れや生育抑制が僅かに認められるが、その回復は早い。今後更に効果の確認と多年生雑草に対する効果を明らかにする必要がある。

㉔ TOC-605 乳剤

東京農試の成績では、雑草発生始期の処理では、広葉、イネ科ともに枯殺、抑草力がみられ、とくにイネ科に対して大であり、生育盛期の処理では、1年生広葉雑草に有効であり、イネ科雑草には再生する可能性が認められた。程ヶ谷C.C.の結果では、発生始期処理で、メヒシバに若干効果が認められるが、広葉雑草にはほとんど効果が認められないとし、発生盛期処理でメヒシバにやや効果があり、またカツリグサおよびカタバミに対して効果大であった。大相模C.C.の結果では、発生始期処理で、メヒシバに対して効果著しく大で、発生盛期処理でもメヒシバに対する効果が著しく大であり、アカザ、ツユクサの抑制力も認められた。日本緑営研の成績ではメヒシバの茎葉処理剤として期待できるが、やや残効期間が短いとしている。今後更に効果の確認など検討を進めることが必要である。

㉕ TREX-SAN 液剤

広葉雑草に対する効果が、東京農試、関西ゴルフ連盟グリーン研、西日本グリーン研の三場所ともに著しいことが認められ、多年生広葉雑草に対しても効果がみられるが、なお検討を要する。芝生の薬害を認めた場所もあり、その軽減が望まれる。

㉖ TS-1 水和剤

カツリグサ科雑草ハマスゲ、ヒメクグに対して顕著な効果が、大相模C.C.、柏G.C.、錦ヶ原C.C.、浜松シーサイドG.C.、西日本グリーン研、千葉大、植調研、の各試験に認められ、広葉雑草に対しても効果がある。芝生の薬害としては葉先枯れの発生がみられ、約2週間で回復した。なお今後検討を重ねることが大切である。

㉗ PO-SAN 液剤

スズメノカタビラの出穂抑制剤としての効果が、日本緑営研、那須G.C.、関西ゴルフ連盟グリーン研の結果で明らかとなり、また処理個体からの種子が不稔のものであることが証明されたことは甚だ興味ある点である。芝生の薬害は、ほとんど問題にならないものと思われる。更に処理時期などについて検討を進めることが大切である。

昭和48年度水稻作関係 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和48年度水稻作関係除草剤の試験成績中央検討会は、昭和48年12月1

3日より15日の3日間、東京(農林年金会館)において開催されたので、ここにその結果を紹

介する。

通りである。

1. 供試除草剤の動向

昭和48年度に供試された除草剤は、栽培法別に示すと、次の通りである。移植本田用として71薬剤、稚苗移植栽培用61薬剤、湛水直播栽培用として4薬剤、乾田直播栽培用4薬剤、畦畔用2薬剤、休耕田用3薬剤、耕起前用として1薬剤、合計146薬剤で、前年度供試薬剤数144薬剤より2薬剤多く供試された。

前年度より問題とされた多年生雑草にも効果のある一年生・多年生同時防除剤については、前年度結果の確認と更に検討が行なわれ、本年度新たにMCC・M・BAS、モリネート・K・BAS、モリネート・M・BAS、B-3015・K・BASなどBAS混合剤、MT-B-3015、B-3015・S・MCPB、TH63・MCPBなど、適用性が検討された。なお、本年度供試除草剤の成分一覧は第1表の

2. 試験結果の概要

本年度供試薬剤のなかで、実用化に移されたものは、移植本田用61薬剤、稚苗移植用49薬剤、湛水直播栽培用4薬剤、乾田直播栽培用2薬剤、畦畔用2薬剤、休耕田用2薬剤、耕起前1薬剤の合計121薬剤で、供試薬剤中83%が実用化の判定を得た。このように、多くの薬剤が実用化されたことは、作用性試験、第一次適用性試験、第二次適用性試験のつながりと充実によるものと思われる。

適用性試験の判定の結果は、第2表の通りである。

また、実用化の認められた除草剤の使用基準は、第3表の通りである。

また、作用特性試験、第1次適用性試験、変動要因試験および散布能率研究会にも、別記の薬剤が供試された。

＜第1表＞ 昭和48年度水稲作関係供試除草剤成分一覧表

I 移植栽培本田

I-1(1) 土壌湿処理

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	NK-049	粒	3,3'-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン 10%	日 本 化 薬
2	NK-049・S	粒	3,3'-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン(NK-049) 8% N-(2-メルカプトエチル)ベンゼンスルホンアミド-S-(4,0-ジイソプロピルホスホロジチオエート)(SAP) 3%	同 上
3	G-315	乳	5-ターシャリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イソプロピルオキシフェニル)1,3,4-オキサジアゾリン-2-オン 12%	ロンスター普及会 〔日産化学〕 〔北興化学〕

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
4.	改良G-315	乳	同 上 10%	同 上
5.	G-315・B	乳	5-ターシヤリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イソプロピルオキシフェニル)1,3,4-オキサジアゾリン-2-オン(G-315) 8% 2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド(ブタクロール) 12%	同 上
6	X-52・KUE (旧XK-724)	粒	2,4-ジクロルフエニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフエニルエーテル(X-52) 6% N-(3-クロル-4-ジフルオロクロメチルメルカプトフェニル)-N,N'-ジメチルウレア(KUE-2079A) 2%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕
7	NTN・72K	乳	未公開(NTN-72)KUE-2079A 40%	日本特殊農薬

I-(2) 移植前土壌処理

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1.	MS-8	粒	N-P-クロロベンジルオキシフェニル-Δ'-テトラヒドロフタルイミド(MK-129) 6% 1-(2-フェニル-2-プロピル)-3-(P-トリル)ウレア(SK-23) 70%	昭和電工 三菱化成
2	MTS-1	粒	2,4,6-トリクロルフエニル-4'-ニトロフエニルエーテル(CNP) 9% 1-(2-フェニル-2-プロピル)-3-(P-トリル)ウレア(SK-23) 7%	三井東圧化学 昭和電工
3	SST-5	粒	2,4-ジクロルフエニル-4'-ニトロフエニルエーテル(NIP) 7% 1-(2-フェニル-2-プロピル)-3-(P-トリル)ウレア(SK-23) 5%	三 洋 貿 易 昭和電工 東京有機化学
4.	KUE-2079A	粒	N-(3-クロル-4-ジフルオロクロメチルチオフェニル)-N,N'-ジメチルウレア 4%	日本特殊農薬
5.	NK-049・S	粒	3,3-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン(NK-049) 8% N-(2-メルカプトエチル)ベンゼンスルホンアミド-S-(0,0-ジイソプロピルホスホロジチオエート)(SAP) 3%	日 本 化 薬

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
6	ブタクロール 2.5	粒	2-クロール-2'6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) -アセトアニリド 2.5%	三菱モンサント
7	ブタクロール 5.0	粒	同 上 5%	同 上
8	X-52・B	粒	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル (X-52) 5% 2-クロール-2'6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) -アセトアニリド (ブタクロール) 3%	X-52協議会 〔石原産薬〕 〔日本農薬〕
9	X-52・KUE (旧XK-724)	粒	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル (X-52) 6% N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロロメチルメルカ プトフェニル)-N'-ジメチルウレア (KUE-207 9A) 2%	同 上
10	X-52・BAS	粒	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル (X-52) 7% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジン-4- -2,2-ジオキシド (BAS-3510) 10%	同 上
11	SK-23	粒	1-(2-フェニル-2-プロピル)-3-(P-トリ ル)ウレア (SK-23) 6%	昭和電工
12	モリネート・K	粒	S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼビン-1-カー ボチオエート (モリネート) 6% N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロロメチルメルカ プトフェニル)-N'-ジメチルウレア (KUE-2 079) 2.5%	モリネート普及会 日本特殊農薬
13	MC-61	粒	ジフェニルエーテル系新規化合物 7%	北興化学
14	MC-79	粒	ジフェニルエーテル系新規化合物 7%	モーダウン研究会 〔北興化学〕 〔モービル石油〕 〔八洲化学〕

1-(3) 移植後土壌処理

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	X-52・B	粒	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル (X-52) 5%	X-52協議会

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1			2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(フトキシメチル) -アセトアニリド(ブタクロール) 3%	〔石原産業〕 〔日本農薬〕
2	X-52・AM (旧XK-721)	粒	2,4-ジクロルフエニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル(X-52) 7% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸-アリアルエステ ル(AM) 0.7%	同 上
3	S K P	粒	1-(2-フエニル-2-プロピル)-3-(P-トリ ル)ウレア(SK-23) 7% 2-メチルチオ-4,6-ビス-イソプロピルアミノ-S トチアジン(プロメトリン) 1.2%	昭 和 電 工 日 本 化 薬
4	U-67	粒	3,4,5-トリブロム-N,N, α -トリメチルピラゾール- 1-アセトアミド 3%	日本アツプジョン
5	KW-10	粒	2,4-ジクロル-4-ニトロジフエニルエーテル 3% 未 公 開(フラン系) 4.5%	大日本除虫菊
6	プロメトリン・MC PB	粒	2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミノ-S- トリアジン(プロメトリン) 1.5% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酪酸エテル (MCPB) 1%	日 本 化 薬
7	MT-B-3015	粒	α -(β -ナフトキシ)プロピオンアニリド(MT-1 01) 7% S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオールカ -バメイト(B-3015) 7%	三井東圧化学 クミアイ化学
8	P M X	粒	2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミノ-S- トリアジン(プロメトリン) 1.5% 2-メチル-4-クロルフエメキシ酪酸エテル (MCPB) 1.0% 未 公 開 7%	日 本 化 薬
9	ブタクロール 5%	粒	2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(フトキシメチル) アセトアニリド(ブタクロール) 5%	〔ブタール普及会〕 日本モンサント

I-(4) 茎葉兼土壌処理

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	X-52・モリネー トAM	粒	2,4-ジクロルフエニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル(X-52) 6%	X-52協議会

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1			S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート (モリネート) 8 % 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸-アリルエステル (AM) 0.7 %	[石原産業] [日本農薬]
2	CH-721S	粒	2-(α -ナフトキシ)-N,N-ジエチルプロピオンアミド (CH-721) 2 % 4,6-ビスエチルアミノ-2-メチルチオ-S-トリアジン (シメトリン) 1.5 %	R-7465 [トーメン] [中外製薬] [日本農薬]
3	TH-62DM-1	粒	2-(2-クロロベンジルチオ)-5-プロピル-1,3,4-オキサジアゾール (ベノキサゾール) 7 % 4,6-ビスエチルアミノ-2-メチルチオ-S-トリアジン (シメトリン) 2 % 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 1 %	武田薬品
4	KH-183 (旧-KH-183A)	粒	2-アミノ-3-クロロ-1,4-ナフトキノン (ACN) 4.5 % 2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド (ブタクロール) 2.5 %	兼商 嘸
5	モリネート S	粒	S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート (モリネート) 6 % 2-メチルチオ-4,6-ビス (エチルアミノ) -S-トリアジン (シメトリン) 1.5 %	トーメン スタウファー・ケミカル
6	モリネート SM	粒	S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート (モリネート) 8 % 2-メチルチオ-4,6-ビス (エチルアミノ) -S-トリアジン (シメトリン) 1.5 % 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 0.8 %	モリネート普及会 [八洲化学] [三笠化学] スタウファー・ケミカル [トーメン]
7	CG-102 5.5	粒	S-(2-メチル-1,1-ビペリジル-カルボニルメチル)-0-ジ-n-プロピルジチオホスフェート (ビペロホス) 4.4 % 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(1',2'-ジメチルプロピルアミノ)-S-トリアジン (キントメトリン) 1.1 %	日本チバガイキ
8	X-52・AM・BAS	粒	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフェニルエーテル (X-52) 7 %	X-52協議会

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
8	(旧XK-722)	粒	2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸-アリルエステル (AM) 0.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4), 2,2-ジオキシド (BAS-3510) 5%	石原産業 日本農薬
9	CG-102 65	粒	S-(2-メチル-1,1-ビペリジルカルボニルメチル)-0,0-ジ-n-プロピルジチオフオスフェート (ビペロホス) 5.5% 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(1,2'-ジメチル-プロピルアミノ)-S-トリアジン (キントメトリン) 1.1%	日本チバガイキー
10	S-28・AM	粒	O-エチル-O-(3-メチル-6-ニトロフェニル)-N-セカンダリ-ブチルホスホロチオアミデート (S-28) 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸-アリルエステル (AM)	住友化学 石原産業
11	S-28・S	粒	O-エチル-O-(3-メチル-6-ニトロフェニル)-N-セカンダリ-ブチルホスホロチオアミデート (S-28) 7% 4,6-ビスエチルアミノ-2-メチルチオ-S-トリアジン (シメトリン) 1.5%	住友化学
12	シメトリン・MCPB 35	粒	2-メチルチオ-4,6-ビス(エチルアミノ)-S-トリアジン (シメトリン) 2.5% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 1%	日本化薬
13	シメトリン・MCPB 25	粒	同上 (シメトリン) 1.5% (MCPB) 1%	同上
14	BAS・HE-31 4	粒	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4), 2,2-ジオキシド (BAS-3510) 1.0% 3-メチル-4'-ニトロジフェニルエーテル (HE-314) 1.2%	住友化学 東京有機化学
15	B-3015・BAS	粒	S-(4-クロロベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメイト (B-3015) 7% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4), 2,2-ジオキシド (BAS-3510) 1.0%	クミアイ化学

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
16	B-3015・SBAS	粒	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメイト(ベンチオカーブ) 7% 2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)-S-トリアジン(シメトリン) 1.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4)2 2-ジオキシド(BAS-3510) 7%	クミアイ化学
17	B-3015・K	粒	S-(4-クロルベンジン)N,N-ジエチルチオールカーバメイト(ベンチオカーブ) 7% N-(3-クロル-4-ジクロロクロルメチルメルカプトフェニル)-N,N'-ジメチルウレア(KUE-2079A) 2.5%	同上
18	TH-63	粒	N-(0,0-ジプロピルジチオホスホリルアセチル)-2-メチルビペリジン(CG-7102) 4.4% 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(1,2-ジメチル-アミノ)-S-トリアジン(CG-7103) 1.1% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) 2,2-ジオキシド(BAS-3510) 1.0%	TH-63研究会 〔武田薬品〕 〔日本チバガイキー〕 〔バーディシエ〕
19	TH-64	粒	2-(2-クロルベンジル)-5-プロピル-1,3,4-オキサジアゾール(ベノキサゾール) 5% 2-メチルチオ-4,6-ビス(エチルアミノ)-S-トリアジン(シメトリン) 1.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) -2,2-ジオキシド(BAS-3510) 7%	武田薬品.
20	NH-703	粒	S-(4-クロルベンジン)N,N-ジエチルチオールカーバメイト(ベンチオカーブ) 1.0% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酪酸エチル(MCPB) 0.7%	日本農薬 クミアイ化学
21	MCC・M・BAS	粒	メチル-N-(3,4-ジクロロフェニル)カーバメイト(MCC) 2.0% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酪酸エチル(MCP) 0.7% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) -2,2-ジオキシド(BAS-3510) 5%	日産化学
22	S M X	粒	2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリアジン(シメトリン) 1.5% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酪酸エチル	日本化薬

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
22			(MCPB) 10% 未 公 開 70%	
23	HOK-7506	粒	2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸-S-エチル (フェノチオール) 15% 3-イソプロピル-2,1,8-ベンゾチアジノン-(4) -2,2-ジオキンド(BAS-3510) 10%	北 興 化 学
	B-3015S (新処法)	粒	S-(4-クロロベンジル)N,N'-ジエチルチオールカ -バメイト(ベンチオカーブ) 7% 2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリア ジン(シメトリン) 15%	ク ミ ア イ 化 学
24	B-3015・S・ MCPB	粒	S-(4-クロロベンジル)N,N'-ジエチルチオールカ -バメイト(ベンチオカーブ) 7% 2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリア ジン(シメトリン) 15% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル 1%	ク ミ ア イ 化 学
25	B-3015・K・ BAS	粒	S-(4-クロロベンジル)N,N'-ジエチルチオールカ -バメイト(ベンチオカーブ) 7% N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロルメチルメルカ プトリフェニル-N,N'-ジメチルウレア(KUE-20 79A) 25% 3-イソプロピル-2,1,8-ベンゾチアジノン-(4)-2,2 -ジオキンド(BAS-3510) 10%	ク ミ ア イ 化 学
26	TH-63・MCP B	粒	N-(0,0-ジプロピル-ジチオホスホリアセチル)- 2-メチルビペリジン(CG-7102) 5.5% 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(1,2-ジメ チル-アミノ)-S-トリアジン(CG-7103) 5% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 10%	武 田 薬 品

I-(5) 適用拡大

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	CG-102 (5.5)	粒	N-(0,0-ジプロピル-ジチオホスホリアセチル)- 2-メチルビペリジン(CG-7102) 4.4% α -メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(1,2-ジメ チル-アミノ)-S-トリアジン (CG-7103) 1.1%	日 本 チ バ ガ イ キ ー

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
2	NK-049S	粒	3,3'-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン 8% N-(2-メルカプトエチル)ベンゼンスルホンアミド -S-(0,0-ジイソプロピルホスホロジチオエート 3%)	日 本 化 薬
3	NIP・Q	粒	2,4-ジクロル-4'-ニトロジフェニルエーテル (NIP) 6% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸(ナトリウム) (MCP) 0.4%	東京有機化学
4	KH-159	粒	2-アミノ-3-クロルナフトキノン(ACN) 5% 2,4-ジクロル-4'-ニトロジフェニルエーテル (NIP) 5% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 0.6%	兼 商 三 洋 貿 易
5	KH-183	粒	2-アミノ-3-クロルナフトキノン(ACN) 4.5% 2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) -アセトアニリド(ブタクロール) 2.5%	兼 商
6	HOK-7506	粒	2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸-S-エチル (フェノチオール) 1.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4) -2,2-ジオキシド(BAS-3510) 1.0%	北 興 化 学
7	HOK-7505	粒	2-メチル-4-クロロフェノキシチオ酢酸-S-エチル (フェノチオール) 0.7% 2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリア ジン(シメトリン) 1.5%, 2.5%	同 上
8	G-315→ MCC・MCP 20	粒	5-ターシャリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イ ソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾ リン-2-オン(G-315) 1.2% メチルN-(3,4-ジクロロフェニル)-カーバメイト (MCC) 1.0% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCP) 0.7%	ロンスター普及会 〔日産化学〕 〔北興化学〕
9	X-52・AM (旧XK-721)	粒	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル(X-52) 7% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エステル (AM) 0.7%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
10	MCP・BAS	水 和	2-メチルクロロフェノキシ酢酸(エチルエステル) 4.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) 2,2-ジオキシド(BAS-3510) 3.0%	日 産 化 学 石 原 産 業
11	MCP・BAS	粒	2-メチルクロロフェノキシ酢酸(エチルエステル) (MCP) 1.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) 2,2-ジオキシド(BAS-3510) 1.0%	同 上
12	2,4PA・BAS	水 和	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 4.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) 2,2-ジオキシド(BAS-3510) 3.0%	石 原 産 業 日 産 化 学
13	2,4PA・BAS	粒	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 1.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) -2,2-ジオキシド(BAS-3510) 1.0%	同 上
14	BAS-3510	粒	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) -2,2-ジオキシド(BAS-3510) 1.0%	住 友 化 学
15	G-315→ シメトリン粒	粒→乳	5-ターシヤリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イ ソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾ リン-2-オン 1.2% 2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)-S- トリアジン 2.5%	北 興 化 学 日本チバガイギー

Ⅱ 稚苗移植栽培

Ⅱ-(1) 土壌混和処理

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	NK-049	粒	3,3'-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン(メトキフ エノン) 1.0%	日 本 化 薬
2	NK-049S	粒	3,3'-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン(NK-0 49) 8% N-(2-メルカプトエチル)ベンゼンスルホンアミド -S-(4,0-ジイソプロピルホスホロジチオエート) (SAP) 3%	同 上
3	G-315・B	乳	5-ターシヤリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イ ソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾリ	日 産 化 学

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
3			ン-2-オン (G-315) 8% 2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) アセトアニリド (ブタクロール) 12% (前年=10+15%)	
4	G-315	乳	5-ターシャリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イ ソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾリ ン-2-オン (オキサジアゾン) 12%	ロンスター普及会 [日 産 化 学] [北 興 化 学]
5	X-52・KUE (前年XK-72 4)	粒	2,4-ジクロルフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル (X-52) 6% N-(3-クロル-4-ジフルオロクロメチルメルカ プトフェニル)-N',N'-ジメチルウレア (KUE-20 79A) 2%	X-52 協 議 会 [石 原 産 業] [日 本 農 薬]
6	B-3015	乳	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオールカ ーバメイト (B-3015) 50%	クミアイ化学
7	B-3015・K	乳	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオールカ ーバメイト (B-3015) 60% N-(3-クロル-4-ジフルオロクロメチルメルカ プトフェニル)-N',N'-ジメチルウレア (KUE-20 79A) 12%	同 上
8	NTN・72K SL-27	乳 乳	未公開 (NTN-72)・KUE-2079 40% 未 公 開 %	日本特殊農薬 石 原 産 業

II-(2) 移植前後土壌処理

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	MS-8	粒	N-P-クロルベンジルオキシフェニル-Δ-テトラヒ ドロフタルイミド (MK-129) 6% 1-(α,α-ジメチルベンジル)-3-(パラトリル) ウレア (SK-23) 7%	昭和電工 三菱化成
2	MTS-1	粒	2,4,6-トリクロルフェニル-4'-ニトロフェニルエ テル (CNP) 9% 1-(α,α-ジメチルベンジル)-3-(パラトリル) ウレア (SK-23) 7%	昭和電工 三 井 東 圧
3	NTN-72K (25)	粒	未 公 開 (NTN-72) 7% (KUE-2079A) 25%	日本特殊農薬

No.	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
4.	モリネート・K	粒	S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピオン-1-カ -ボチオエート (モリネート) 6 % N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロロメチルメルカ プトフェニル)-N,N'-ジメチルウレア (KUE-20 79A) 2.5 %	モリネート普及会 〔八 洲 化 学〕 〔日本特殊農薬〕
5.	X-52・KUE (前年XK-72 4)	粒	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル (X-52) 6 % N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロロメチルカプト フェニル)-N,N'-ジメチルウレア (KUE) 2 %	X-52協議会 〔石 原 産 業〕 〔日 本 農 薬〕
6.	ブタクロール (25)	粒	2-クロロ-2'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) アセトアニリド (ブタクロール) 2.5 %	三菱モンサント
7.	KH-183 (旧KH-183 A)	粒	2-アミノ-3-クロロナフトキノ (ACN) 4.5 % 2-クロロ-2'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) アセトアニリド (ブタクロール) 2.5 %	兼 商
8.	SST-5	粒	2,4-ジクロロ-4'-ニトロジフェニルエーテル (NIP) 7 % 1-(α,α -ジメチルベンジル)-3-(パラトリル) ウレア (SK-23) 5 %	昭 和 電 工 三 洋 貿 易 東京有機化学
9.	MC-61	粒	ジフェニルエーテル系新規化合物 7 %	北 興 化 学
10.	MC-79	粒	ジフェニルエーテル系新規化合物 7 %	モーダウン研究会 〔北 興 化 学〕 〔モ ー ビ ル 石 油〕 〔八 洲 化 学〕

Ⅱ-(3) 移植後土壌処理

No.	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1.	X-52・B	粒	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル (X-52) 5 % 2-クロロ-2'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) アセトアニリド (ブタクロール) 3 %	X-52協議会 〔石 原 産 業〕 〔日 本 農 薬〕
2.	X-52・AM (前年XK- 721)	粒	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル (X-52) 7 % 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸アリエステル (AM) 0.7 %	同 上

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
3	MT・B-3015	粒	α -(β -ナフトキシ)プロピオンアニリド (MT-101) 7% S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオール- カーバメイト(ベンチオカーブ) 7%	三井東庄 クミアイ化学
4	KH-183 (旧KH- 183A)	粒	2-アミノ-3-クロルナフトキノ(ACN) 4.5% 2-クロル 2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)ア セトアニリド(ブタクロール) 2.5%	兼 商
5	ブタクロール 5%	粒	2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) アセトアニリド(ブタクロール) 5%	ブタール普及会 日本モンサント

Ⅱ-(4) 茎葉兼土壌処理

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	X-52・AM・B AS (旧XK-722)	粒	2,4-ジクロルフエニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル(X-52) 7% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸-アリアルエステ ル(AM) 0.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4) 2,2-ジオキシド(BAS-3510) 5%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕
2	X-52・モリネー ト・AM	粒	2,4-ジクロルフエニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル(X-52) 6% S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピオン-1-カ ーボチオエート(モリネート) 8% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸アリアルエステ ル(AM) 0.7%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕
3	モリネート・K・M	粒	S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピオン-1-カ ーボチオエート(モリネート) 8% N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロメチルメルカ プトフェニル)-N,N'-ジメチルウレア(KUE-20 79A) 2% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸エチル (MOPB) 1%	モリネート普及会 〔八洲化学〕 〔日本特殊農薬〕
4	モリネート・SM	粒	S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピオン-1-カ ーボチオエート(モリネート) 8% 2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)S-ト リアジン(シメトリン) 1.5% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸エチル (MCPB) 0.8%	モリネート普及会 〔八洲化学〕 三笠化学 ストツファ- ケミカル ト-メン

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
5.	モリネート・M・B AS	粒	S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カー ボチオエート (モリネート) 8 % 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 1 % イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジノン-(4)-2 2-ジオキシド (BAS-3510) 10 %	八 洲 化 学 住 友 化 学
6	モリネート・K・B AS	粒	S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カー ボチオエート (モリネート) 6 % N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロメチルメルカ プトフェニル)-N,N'-ジメチルウレア (KUE-20 79A) 2 % 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジノン-(4)-2 2-ジオキシド (BAS-3510) 10 %	モリネート普及会 〔八 洲 化 学〕 〔三 笠 化 学〕 〔ストツファアー・ケ〕 〔ミカルトーメン〕 日 本 特 殊 農 薬 住 友 化 学
7	NTN-72・K (25)	粒	未 公 開 (NTN-72) 7 % (KUE-2079A) 25 %	日 本 特 殊 農 薬
8	NTN-72・K・X	粒	未公開 (NTN-72) N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロメチルメルカ プトフェニル)-N,N'-ジメチルウレア (KUE-207 9A) 25 % 未 公 開 10 %	日 本 特 殊 農 薬
9	CG-102 (5.5)	粒	N-(40-ジプロピルジチオホスホリルアセチル) -2-メチルピペリジン (CG-7102) 4.4 % 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(α,β -ジメ チルアミノ)-S-トリアジン (CG-7103) 1.1 %	日 本 テ バ ガ イ ギ ー
10	B-3015・K	粒	S-(4-クロロベンジル)N,N'-ジエチルチオール カーバメイト (ベンチオカーブ) 7 % N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロメチルメルカ プトフェニル)-N,N'-ジメチルウレア (KUE-2097A) 25 %	ク ミ ア イ 化 学
11	TH-63	粒	S-(2-メチル-1,1-ピペリジルカルボニルメチ ル)-40-ジ-n-プロピルジチオホスフエート (ピ ペロホス) 4.4 % 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(1,2-ジメ チルプロピルアミノ)-S-トリアジン (キントメトリ ン) 1.1 % 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジノン-(4) 2,2-ジオキシド (BAS-3510) 10 %	武 田 薬 品

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
12	B-3015・S・BAS	粒	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメイト(ベンチオカーブ) 7% 2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリアジン(シメトリン) 1.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジノン(4)-2,2-ジオキソド(BAS-3510) 1.0%	クミアイ化学
13	B-3015・BAS	粒	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメイト(B-3015) 7% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジノン(4)-2,2-ジオキソド(BAS-3510) 1.0%	クミアイ化学
14	B-3015・S 新処法	粒	S-(4-クロルベンジル)-N,N-ジエチルチオールカーバメイト 7% 2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)-S-トリアジン 2.5%	クミアイ化学
15	NH-703	粒	S-(4-クロルベンジン)N,N-ジエチルチオールカーバメイト(ベンチオカーブ) 1.0% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酪酸エチル(MCPB) 0.7%	日本農薬 クミアイ化学
16	KH-188	粒	2-アミノ-3-クロルナフトキノ(ACN) 4.5% 2-クロル-2,6-ジエチル-N-(フトキシメチル)-アセトアニリド(ブタクロール) 2.5%	兼 商
17	B-3015・K・BAS	粒	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメイト 7% N-(3-クロロ-4-ジクロロクロルメチルメルカプトフェニル)-N,N'-ジメチルウレア 2.5% 3-(イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジノン(4)-2,2-ジオキサイド 1.0%	クミアイ化学
18	B-3015・S・MCPB	粒	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルカーバメイト 7% 2-エチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)-S-トリアジン 2.5% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酪酸エチル(MCPB) 1%	クミアイ化学
19	S-28・S	粒	O-エチル-O-(3-メチル-6-ニトロフェニル)-N-セカンダリブチルホスホロチオアミデート(S-28) 7%	住友化学

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
19			シメトリン 1.5%	
20	S-28・AM	粒	O-エチル-O-(3-メチル-6-ニトロフェニル) -N-セカンダリーブチルホスホロチオアミデート (S-28) 7% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸アリル (アリル MCP)	石原産業

II-(5) 適用拡大

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	シメトリン・MCP B	粒	2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリ アジン (シメトリン) 1.5% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 1%	日本化薬
2	NK-049・S	粒	3,3'-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン (NK-049) 8% N-(2-メルカプトエチル)ベンゼンスルホンアミ ド-S-(0-ジイソプロピルホスホロチオエート) (SAP) 3%	同上
3	CG-102 (5.5)	粒	N-(0-ジプロピルジチオホスホリルアセチル) -2-メチルピペリジン (CG-7102) 4.4% 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(α,β -ジメ チルアミノ-S-トリアジン (CG-7103) 1.1%	日本チバガイギー
4	ブタクロール・S	粒	2-クロル-2'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) アセトアニリド (ブタクロール) 4% 4,6-ビスエチルアミノ-2-メチルチオ-S-トリ アジン (シメトリン) 1.3%	日本モンサント
5	X-52・AM	粒	2,4-ジクロロフェノキシ-2'-メトキシ-4'-ニトロ フェニルエーテル (X-52) 7% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸-アリルエス テル (AM) 1.5%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕
6	B-3015S	粒	S-(4-クロルベンジン)N,N'-ジエチルチオールカ ーバメイト (ベンチオカーブ) 7% 2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリ アジン (シメトリン) 1.5%	クミアイ化学

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
7	B-3015 (→B-3015S)	粒	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオカーバ メイト(ペンチオカーブ) 10%	クミアイ化学
8	モリネート・SM	粒	S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カー ボチオエート(モリネート) 8% 2-メチルチオ-4,6-ビス(エチルアミノ)-S-ト リアジン(シメトリン) 1.5% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸エチル (MCPB) 0.6%	モリネート普及会 〔八洲化学〕 〔三笠化学〕 〔ストツファーク〕 〔ミカルトーメン〕
9	KH-159	粒	2-アミノ-3-クロルナフトキノ(ACN) 5% 2,4-ジクロル-4'-ニトロジフェニルエーテル (NIP) 5% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸エチル (MCPB) 0.6%	兼 商
10	ブタクロール	粒	2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) -アセトアニリド(ブタクロール) 5%	日本モンサント
11	MTS-1	粒	2,4,6-トリクロルフエニル-4'-ニトロフェニルエー テル(CNP) 9% 1-(α , α -ジメチルベンジン)-3-(パラトル) ウレア(SK-23) 7%	昭和電工 三井東圧
12	NIP・Q	粒	2,4-ジクロル-4'-ニトロジフェニルエーテル (NIP) 6% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸(ナトリウム) (MCP) 0.4%	東京有機化学
13	X-52・AM	粒	2,4-ジクロルフエノキシ-3'-メトキシ-4'-ニトロ フェニルエーテル(X-52) 7% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸-アリルエステ ル(AM) 1.5%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕
14	MCP・BAS	水和	2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸エチル 4.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4) 2,2-ジオキシド(BAS-3510) 30%	日産化学 石原産業
15	MCP・BAS	粒	2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸エチル(MCP) 1.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4) 2,2-ジオキシド(BAS-3510) 10%	同 上

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
16	2,4PA・BAS	水 和	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 4.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) 2,2-ジオキシド(BAS-3510) 3.0%	日 産 化 学 石 原 産 業
17	2,4PA・BAS	粒	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 1.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) 2,2-ジオキシド(BAS-3510) 1.0%	同 上
18	HOK-7505	粒	2-メチル-4-クロロフェノキシチオ酢酸-S-エチル(フェノチオール) 0.7% 2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリアジン(シメトリン) 1.5% 2.5%	北 興 化 学

Ⅱ-1 港水直播

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	G-315	乳	5-ターシャリブチル-3-(2,4-ジクロロ-5-イソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾリン-2-オン(オキサジアゾン) 1.2%	ロンスター普及会 〔日 産 化 学〕 〔北 興 化 学〕
2	B-3015	乳	S-(4-クロロベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメイト(ベンチオカーブ) 5.0%	クミアイ化学
3	B-3015	粒	S-(4-クロロベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメイト(ベンチオカーブ) 1.0%	同 上
4	モリネート・K	粒	S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート(モリネート) 6% N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロルメチルメルカプトリフェニル)-N'-ジメチルウレア(KUE-2079) 2.5%	モリネート普及会 日本特殊農薬

Ⅱ-2 乾田直播

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	プロメトリン	水 和	2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミノ-S-トリアジン(プロメトリン) 5.0%	日 本 化 薬
2	モリネート・SM	粒	S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート(モリネート) 8% 4,6-ビスエチルアミノ-2-メチルチオ-S-トリアジン(シメトリン) 1.5%	モリネート普及会 〔八 洲 化 学〕 〔三 笠 化 学〕

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
2			2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 0.8%	ストツファアー・ ケミカルトーマン
3	BAS-3510	水 和	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)- 2,2-ジオキサイド(BAS-3510) 5.0%	住 友 化 学
4	NTN-80	乳	未 公 開 3.0%	日 本 特 殊 農 薬

Ⅳ 畦 畔

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	DPA・DCMU・ MCP	粒	3,4-ジクロロプロピオンアニリド(DPA) 4.0% 3-(3,4-ジクロロフェニル)1,1-ジメチルウレア (DCMU) 3% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸(エチル) (MCP) 3%	石 原 産 業
2	Y-471-H	水 和	3,4-ジクロロプロピオンアニリド(DPA) 4.0% 3-(3,4-ジクロロフェニル)1,1-ジメチルウレア (DCMU) 2.5% 2,4-ジクロロフェノキシアシッド(2,4PA) 2.0%	山 本 農 薬

V 休 耕 田

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	Y-471-H	水 和	3,4-ジクロロプロピオンアニリド(DPA) 4.0% 3-(3,4-ジクロロフェニル)1,1-ジメチルウレア (DCMU) 2.5% 2,4-ジクロロフェノキシアシッド(2,4PA) 2.0%	山 本 農 薬
2	デゾレート・A	粉	塩素酸ナトリウム 6.0%	日本カーリット
3	DPA・DCMU・ MCP	粒	3,4-ジクロロプロピオンアニリド(DPA) 4.0% 3-(3,4-ジクロロフェニル)1,1-ジメチルウレア (DCMU) 3% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸(エチル) (MCP) 3%	石 原 産 業

Ⅵ 耕起前処理

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	MON-39	乳	N-(フォスフォノメチル)グリシン-イソプロピルア	日本モンサント

No.	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1.	(グリフォセール)		ミン塩 48.63%W/V	

試験 1 ウリカワ対象試験

No.	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1.	BAS-3510	水 和	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジオキンド (BAS-3510) 50%	住 友 化 学
2.	BAS-3510	粒	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジオキンド (BAS-3510) 10%	同 上
3.	2,4 P A・BAS	水 和	2,4-ジクロルフェノキシ酢酸 エチル 4.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジオキンド (BAS-3510) 30%	日 産 化 学 石 原 産 業

試験 2

No.	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1.	BAS-3510	水 和	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジオキンド (BAS-3510) 50%	住 友 化 学
2.	BAS-3510	粒	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジオキンド (BAS-3510) 10%	同 上
3.	2,4 P A・BAS	水 和	2,4-ジクロルフェノキシ酢酸 エチル 4.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジオキンド (BAS-3510) 30%	同 上

<第2表> 昭和48年度水稲作関係除草剤実用化判定表

		実	実 および 継	継 続	継続?	中 止
1	I-(1) 土壌混和処理		NK-049・S 粒 G-315 乳 改良G-315 乳 X-52・KUE 粒 G-315・B 乳	NK-049 粒 NTN-72・K 粒		
	I-(2) 移土壌前処理	KUE-2079・A 粒	MS-8 粒 MTS-1 粒 SST-5 粒 NK-049・S 粒	MC-61 粒		

[illegible]

	実	実 および 継	継 続	継続?	中 止
Ⅱ 稚 苗 移 植 栽 培	I-(5) つづき	HOK-7505A 粒 HOK-7506 粒 (G-315)→ 粒 MCC・M			
	Ⅱ-(1) 土 壤 混 和 処 理	NK-049・S 粒 G-315・B 乳 G-315 乳 X-52・K 粒 B-3015 乳 B-3015・K 乳 NTN-72・K 乳	NK-049 粒 SL-27 液		
	Ⅱ-(2) 移 植 前 後 土 壤 処 理	MS-8 粒 MTS-1 粒 NTN-72・K 粒 モリネート・K 粒 X-52・KUE 粒 SST-5 粒 ブタクロール25 粒	KH-188 粒 MC-61 粒 MC-79 粒		
	Ⅱ-(3) 移 植 後 土 壤 処 理	X-52・B 粒 X-52・AM 粒 MT・B-3015 粒 KH-188 粒 ブタクロール5.0 粒			
	Ⅱ-(4) 茎 葉 兼 土 壤 処 理	新 B-3015・S 粒 X-52・AM・BAS 粒 モリネート・K・M 粒 モリネート・S・M 粒 モリネート・K・BAS 粒 モリネート・M・BAS 粒 NTN-72・K 粒 NTN-72・K・X 粒 CG-102・5.5 粒 TH-63 粒 B-3015・S・BAS 粒 B-3015・BAS 粒 B-3015・K 粒 NH-703 粒 KH-188 粒	X-52・ 粒 モリネートAM B-3015・K・BAS粒 B-3015・S・ MCPB 粒 S-28・S 粒 S-28・AM 粒		
	Ⅱ-(5)	ブタクロール・S 粒 CG-102 5.5 粒	B-3015→ 粒 B-3015・S		

		実	実 および 継	継 続	継続?	中 止
Ⅱ 稚 苗 移 植 栽 培 (つづき)	Ⅱ-5 通 用 拡 大	B-3015・S 粒 NIP・Q 粒	モリネートSM 粒 KH-159 粒 ブタクロール5.0 粒 (X-52)→ 粒 AM (X-52)→ 粒 X-52・AM MCP・BAS 粒 MCP・BAS 水和 2,4PA・BAS 粒 2,4PA・BAS 水和 シメトリン・MCPB 粒 HOK-7505 粒			
Ⅲ 湛 水 直 播			G-315 乳 B-3015 乳 B-3015 粒 モリネート・K 粒			
Ⅳ 乾 田 直 播			モリネートSM 粒 BAS-3510 水和	プロメトリン 水和 NTN-80 乳		
V 畦 畔		Y-471H 水和 DPA・DCMU・MCP 粒				
Ⅵ 休 耕 田			塩素酸ソーダ (デゾレートA) DPA・DCMU・MCP 粒	X-471H 水和		
Ⅶ 耕 起 前			MON-39 乳			

〔その他作用特性の説明〕

Ⅰ 早期移植栽培

(1) 成苗移植栽培

MC-61粒, MC-79粒, S-28粒, S-28・S粒, S-28・AM粒, CH-721・S粒,
CH-722粒, MT-107粒, MT-108粒, MT-209粒, MT-210粒, MT-211粒,
MT-B3015粒, U-67粒, BAS-01粒, BAS-02粒, BAS-03粒, HOK-750
6粒, SMX粒, PMX粒, MCC・M・BAS粒, Mon-358粒, Mon-385乳,

Mon-385+ブタクロール乳

(2) 稚苗移植栽培

SL-27液, SL-27粒, S-28粒, S-28・S粒, S-28・AM粒, CH-722粒, MT-107粒, MT-209粒, MT-B-3015粒, SW-730水和, SW-731粒, SW-732粒, ANK-553粒, ANK390粒, NP-27水和, NTN-80粒, NTN-80S粒, NTN-72K・X粒, モリネートKM粒, モリネートK・BAS粒, モリネートM・BAS粒, MCC・M・BAS粒

Ⅱ 普通期移植栽培

(1) 成苗移植栽培

MC-79粒, MC-61粒, S-28粒, S-28・S粒, S-28・AM粒, CH-721S粒, CH-722粒, MT-107粒, MT-108粒, MT-209粒, MT-210粒, MT-211粒, MT-B-3015粒, U-67粒, BAS-01粒, BAS-03粒, HOK-7506粒, SMX粒, PMX粒, MCC・M・BAS粒, TH-63・MCPB粒, B-3015S・MCPB粒, Mon-358粒, Mon-385粒, Mon-385・ブタクロールA粒, Mon-385・ブタクロールB粒

(2) 稚苗移植栽培

SL-27液, SL-27粒, S-28粒, S-28・S粒, S-28・AM粒, CH-722粒, MT-107粒, MT-209粒, MT-B-3015粒, SW-730水和, SW-731粒, SW-734粒, SW-732粒, SW-733粒, ANK-553粒, ANK-390粒, NP-27水和, NTN-80粒, NTN-80S粒, NTN-72K・X粒, モリネートKM粒, モリネートK・BAS粒, モリネートM・BAS粒, MCC・M・BAS粒, B-3015・K・BAS粒, Mon-358粒, Mon-385粒, Mon-385・ブタクロールA粒, Mon-385・ブタクロールB粒, XD-39水和, M-351乳

Ⅲ その他変動要因を行つたもの

S-28粒, NK-049S粒, MT-B-3015粒, キントメトリンとその混合剤, S-28・S粒, S-28・AM粒, NTN-72K乳, 改良G-315乳, MS-8粒, SK-23粒, ANK-553粒, ANK-553乳

〔 第1次適用性試験 〕

MC-79粒, MC-61粒, CH-721・S粒, CH-722粒, MT-209粒, MT-210粒, MT-211粒, SL-27液, SL-27粒, MT-B-3015粒, S-28粒, S-28・S粒, CG-102_{5.5}粒, TH-64粒, NH-703粒, S-28・AM粒, HOK-7506粒, PMX粒, SMX粒, MCC・M・BAS粒, SW-731粒, SW-732・X粒[㊤], SW-733粒[㊤], NK-049S粒, NTN-72・K乳, NTN-80S粒, NTN-72・K・X粒, TH-63粒, ANK-553粒, Mon-385粒, Mon-358粒, Mon-385+ブタクロール, Mon-385+ブタクロール, モリネートK・M粒, モリネートK・BAS粒, モリネートM・BAS粒, TH-63MCPB粒

〔パイプダスター研究会〕

NIP粒, CNP粒(9%), CNP粒(18%), X-52粒, B-3015S粒, 新B-3015S粒(新処法), MCC・M粒, モリネートSM粒

＜第3表＞ 昭和48年度水稲作関係実用化除草剤使用基準一覧表

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
I-(1) 移植栽培本田 土壌混和処理	NK- 049・S粒	土壌混和	植代直前直後 (-3~-2)	⊕ 400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地西部以 西の普通期	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	G-315乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	⊕ 50~66cc	砂壤土~埴土 (極端な漏水田は さける)	全域の普通期 (温暖地東部 の早期)	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	改良 G-315乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	⊕ 50~60cc	砂壤土~埴土 (極端な漏水田は さける)	寒冷地, 温暖 地の普通期	1) 混和時水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	X-52・ KUE 粒	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	⊕ 400~500	砂壤土~埴土 (3cm/日以下)	温暖地以西の 普通期 (温暖地東部 の早期)	1) 混和時水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	G-315・ B 乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	⊕ 50cc	埴土~埴土 (2cm/日以下)	寒 地	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
I-(2) 移植栽培本田 移植前後処理	MS-8 粒	土 壤	-2~+8 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300	埴土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	
			ホタルイ発生始			寒冷地以北	
	MTS-1粒	土 壤	-3~+7 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300	埴土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 温暖地東部の 早期	
			ホタルイ発生始			温暖地東部以 北	
	SST-5粒	土 壤	-3~-2 +3~+7 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 早 期	
			ホタルイ発生始			寒冷地	
	KUE-20 79・A 粒	土 壤	-3~+8 (発生始)	⊕ 300	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 早 期	1) イネ科除く一 年生雑草対象

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
I- (2) 移植栽培本田→移植前後処理 (つづき)	NK- 049・S粒	土 壤	-2~+5 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期	
	SK-23粒	土 壤	+3~+7 ホタルイ 発生前~1ℓ マツバイ 発生前~発生始	⊕ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以北	
	ブタクロール 25 粒	土 壤	-3~+3 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	
			ミズガヤツリ 発生始			温暖地西部の 普通期	
			ホタルイ, 発生直 前~1ℓまで			寒地, 寒冷地 北部	
	ブタクロール 5.0 粒	土 壤	-3~+3	⊕ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地東部以 北の普通期	
	X-52 ・K 粒	土 壤	-3~+7 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 早 期	
	X-52 ・B 粒	土 壤	-2~+4 ホタルイ 発生前~1ℓ	⊕ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒地, 寒冷地 北部	
	X-52 ・BAS粒	土 壤	+3~+3 (ノビエ1ℓまで) ウリカワ, ミズガ ヤツリ 発生始~盛期	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期 暖地の早期	
I- (3) 移植栽培本田→移植後土壌処理	モリネート・ K 粒	土 壤	-3~-1 +2~+6	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期, 早期	
	MC-79粒	土 壤	+3~+7 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300	壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地以北の 普通期	
	X-52 ・B 粒	土 壤	+5~ノビエ2ℓ (+12頃 寒地は+15頃) ホタルイ1ℓまで	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 早 期 寒 地	
	SKP 粒	土 壤	+3~ノビエ1ℓ まで (+7頃)	⊕ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地西部の 普通期	
	U-67 粒	土 壤	+4~ ホタルイ発生前~2ℓ マツバイ発生盛期 カヤツリグサ //	⊕ 300~400	壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	全域の普通期	ホタルイ, マツバ イ, カヤツリグサ を対象とする。

	薬 劑 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
I-(3) 移植栽培本田 → 移植後土壌処理 (つづき)	KW-10粒	土 壌	+5~ノビエ1.5ℓ (+10頃)	⊕ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地東部(東海)~西部の普通期	
	ブタクロール 5.0 ⁶ 粒	土 壌	+4~ノビエ1.5ℓ (+10頃) ミズガヤツリ 発生始~3ℓ ホタルイ 発生前~2ℓ	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 早 期	
	プロメトリン ・MCPB粒	土 壌	ノビエ1.5ℓ +5~(+10頃)	⊕ 300	砂壤土~埴土 (3cm/日以下)	温暖地東部(関東)以北の普通期	
	MT・B- 3015粒	土 壌 茎葉兼 土壌	+5~ノビエ2ℓ (+12頃) ホタルイ 発生始~2ℓ	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 暖地の早期 寒地, 寒冷地	
I-(4) 移植栽培本田 → 茎葉兼土壌処理	X-52・モ リネート・A M 粒	茎葉兼 土壌	+10~ノビエ 2.5ℓ 但し(寒地, 寒冷 地および早期+1 5~ノビエ2.5ℓ) ミズガヤツリ 発生始~盛期	⊕ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 早 期	
	X-52・A M・BAS粒	茎葉兼 土壌	+7~ノビエ1.5ℓ (+10頃) ミズガヤツリ, ウリ カワ 発生始~盛 +7ノビエ1.5ℓ ミズガヤツリ 発生始~盛	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	寒冷地南部以 西の普通期 温暖地東部の 早期	
	モリネート S粒	茎葉兼 土壌	+7~ノビエ2.5ℓ (+15頃) 但し寒冷地は +7~20ℓ (+15頃)	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (極端な溺水は除 く)	全域の普通期 早 期	※シメトリン シメトリン混合剤 の使用上の注意を まもる。
	TH-62・ DM-1 粒	茎葉兼 土壌	+11~ノビエ 2.5ℓ	⊕ 300~400	壤土~埴土 (1cm/日以下)	寒冷地	※シメトリン, シ メトリン混合剤の 使用上の注意をま もる。

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
I-(4) 移植栽培本田 — 茎葉兼土壌処理 (つづき)	KH— 183粒	土 壤 茎葉兼 土壌	+3～ノビエ15ℓ (+10頃)	㊥ 300～400	砂壤土～埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	
			ヘラオモダカ 発生前 ホタルイ 発生前～2ℓ			寒 地	
	モリネートS M 粒	茎葉兼 土壌	+10～ノビエ 25ℓ 但し寒地は+15 ～ノビエ25ℓ ヘラオモダカ 発生始～2ℓ ホタルイ, ウリカワ 発生盛～発生前	㊥ 300～400	砂壤土～埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 早期	※シメトリン, シ メトリン混合剤の 使用上の注意をま もる。
	CG—102 5.5粒	茎葉兼 土壌	+7～ノビエ25ℓ 但し寒地は+15 ノビエ20ℓまで	㊥ 300～400	埴土～埴土 (極端な漏水田は 除く) 砂壤土は, 3cm/日以下	全域の普通期 早期	※シメトリン, シ メトリン混合剤と 同様の使用上の注 意をまもる。
	CG—102 6.5粒	茎葉兼 土壌	+7～ノビエ30 ℓまで	㊥ 300～400	埴土～埴土 (極端な漏水田は 除く)	寒冷地以西の 普通期	※シメトリン, シ メトリン混合剤と 同様の使用上の注 意をまもる。
	TH—63粒	茎葉兼 土壌	+7～ノビエ25ℓ ホタルイ; 始～5ℓ ウリカワ: 4～5ℓまで ミズガヤツリ: 4～6ℓまで ヘラオモダカ: 始～盛	㊥ 300～400	砂壤土～埴土 (2.0cm/日以下)	全域の普通期 早期	※シメトリン, シ メトリン混合剤と 同様の使用上の注 意をまもる。
	シメトリン・ MCPB 粒	茎葉兼 土壌	+7～ノビエ2ℓ (+12頃)	+7～+10 300	埴土～埴土 (2cm/日以下)	寒冷地, 温暖 地の普通期	※シメトリン, シ メトリン混合剤と 同様の使用上の注 意をまもる。
			ウリカワ 発生始～盛 (+10～15頃)	+10以降 400		寒冷地南部～ 温暖地西部 (近 隣) の普通期	
	シメトリン・ MCPB 粒	茎葉兼 土壌	+5～ノビエ2ℓ (+12頃)	㊥ 300～400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期	※シメトリン, シ メトリン混合剤の 使用上の注意をま もる。
			ウリカワ 発生盛～揃期 (4～5ℓ)			温暖地西部の 普通期	

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
I-(4) 移 植 栽 培 本 田 ― 茎 葉 兼 土 壤 処 理 (つ づ き)	HE-314 ・BAS 粒	茎葉兼 土壌	+8〜ノビエ1.5ℓ (+12頃) ホタルイ:始〜5ℓ ミズガヤツリ: 2〜5ℓ ウリカワ:発生揃	⊕ 400	壤土〜埴土 (1cm/日以下)	温暖地以北の 普通期	
	B-3015 ・BAS 粒	茎葉兼 土壌	+6〜ノビエ1.5ℓ (+10頃) ミズガヤツリ: 発生始〜盛 ウリカワ:発生揃 (8〜5ℓ)	⊕ 300〜400	砂壤土〜埴土 (1.5cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期 温暖地西部以 西の普通期	
	B-3015 ・S・BAS 粒	茎葉兼 土壌	+7〜ノビエ2.5ℓ 寒地+7〜2ℓ ウリカワ, ホタル イ, ミズガヤツリ 発生盛〜揃期 ミズガヤ 盛〜揃	⊕ 300〜400	砂壤土〜埴土 (2.0cm/日以下)	全域の普通期 温暖地東部の 早期	※シメトリン, シ メトリン混合剤の 使用上の注意をま もる。
	B-3015 ・K 粒	茎葉兼 土壌	+8〜ノビエ2.5ℓ (+15頃)	⊕ 300〜400	砂壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期, 温暖 地東部の早期	
	NH-703 粒	茎葉兼 土壌	+7〜ノビエ2ℓ (+12頃)	⊕ 300	砂壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期 暖地の早期	
	MCC・M・ BAS 粒	茎葉兼 土壌	+10〜ノビエ2ℓ まで (+15頃) ホタルイ:始〜4ℓ ヘラオモ:始〜2ℓ	⊕ 300〜400	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒地, 寒冷地 寒 地	
	SMX 粒	茎葉兼 土壌	+7〜ノビエ2ℓま で (+12頃) ウリカワ:3〜5ℓ	⊕ 300〜400	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	温暖地の普通 期	※シメトリン, シ メトリン混合剤の 使用上の注意をま もる。
	S-28・S 粒	茎葉兼 土壌	+7〜ノビエ1.5ℓ (+12頃)	⊕ 300〜400	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	温暖地以北の 普通期	※シメトリン, シ メトリン混合剤の 使用上の注意をま もる。
	新B-301 5・S 粒	茎葉兼 土壌	+7〜ノビエ2.5ℓ (15日頃) 寒地は2.0ℓ (+15頃)	⊕ 300〜400	砂壤土〜埴土 (極端な漏水田は 除く)	全域の普通期 早期	※シメトリン, シ メトリン混合剤の 使用上の注意をま もる。

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
I-(4) (つぎ)	B-3015 ・K・BAS 粒	茎葉兼 土壌	+8~ノビエ25ℓ (+12頃) ウリカワ:3~4ℓ	㊥ 300~400	壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	暖地の普通期	
	TH-63・ MCPB 粒	茎葉兼 土壌	+10~ノビエ 25ℓ ウリカワ, ミズガ ヤツリ 4~5ℓ	㊥ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地西部の 普通期	※シメトリン, シ メトリン混合剤と 同様の注意をまも る。
I-(5) 移 植 栽 培 本 田 適 用 拡 大	CG-102 5.5 粒	茎葉兼 土壌	田植前後土壌処理 した場合+16~ 25(25ℓまで)	㊥ 300~400	壤土~埴土 (3cm/日以下)	寒 冷 地	
	X-52・ AM 粒	土 壌	田植前後処理した 場合+10~25 (ノビエ1ℓまで)	㊥ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地東部以 北の普通期	
	MCP・BA S 粒	茎 葉	MCPに準ずる一 年生非イネ科及び ホタルイ 4ℓ ミズガヤツリ5.6ℓ ウリカワ塊茎形成前 ヘラオモタカ4.5ℓ	㊥ 300~400	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	温暖地東部以 北の普通期, 温暖地東部の 早期	前処理剤を組合 せて使用する
	MCP・BA S 水和	茎 葉	MCPに準ずる一 年生非イネ科及び ホタルイ 4ℓ ミズガヤツリ7.8ℓ ウリカワ塊茎形成前 ヘラオモタカ4.5ℓ	㊥ 100	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	温暖地西部(近畿)以北の 普通期	前処理剤と組合 わせて使用する
	2,4PA・ BAS 粒	茎 葉	2,4PAに準ずる 一年生非イネ科 ホタルイ 4ℓ ミズガヤツリ5.6ℓ ウリカワ塊茎形成前	㊥ 300~400	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	温暖地以西の 普通期	前処理剤を組合 わせて使用する
	2,4PA・ BAS 水和	茎 葉	2,4PAに準ず る一年生非イネ科 ホタルイ 4ℓ ミズガヤツリ7.8ℓ ウリカワ塊茎形成前	㊥ 100	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	温暖地以西の 普通期	前処理剤を組み合 わせて使用する
	BAS- 3510 粒	茎 葉	一年生非イネ科及 びホタルイ, ウリ カワ, ミズガヤツ リ, ヘラオモダカ 発生盛~揃 ウリカワ, ミズガ ヤツリ, 発生揃	㊥ 400~600	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	全域の普通期 温暖地東部の 早期	前処理剤と組合 わせて使用する

	薬剤名	処理法	処理時期	使用量 (成分)	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
I-(5) 移植 栽 培 本 田 適用 拡大 (つづき)	KH-159 粒	土壌 茎・土	田植前後土壌処理 した場合 +10~15 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300~400	砂壌土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	前処理剤との組合 わせて使用する。
			ウリカワ 発生盛			温暖地以西の 普通期	
			ホタルイ 発生盛			寒冷地	
	KH-183 粒	土壌	田植前後土壌処理 した場合 +10~+20 (ノビエ1.5ℓまで) ヘラオモダカ, ホ タルイ, 発生前~始	⊕ 300~400	砂壌土~埴土 (2cm/日以下)	寒地, 寒冷地	前処理剤との組合 せて使用する。
	HOK-75 05(B) 粒	茎葉兼 土壌	田植前後土壌処理 した場合 +15~25 (ノビエ2ℓまで) ウリカワ 発生盛期	⊕ 300~400	砂壌土~埴土 (3cm/日以下)	寒冷地南部, 温暖地普通期	前処理剤との組み 合わせて使用する
	HOK-75 05(A) 粒	茎葉兼 土壌	田植前後土壌処理 した場合 +15~25 (ノビエ2ℓまで) ウリカワ, ホタルイ 発生盛期	⊕ 300~400	砂壌土~埴土 (3cm/日以下)	寒冷地, 温暖 地東部の普通 期, 早期	前処理剤との組合 わせて使用する
	HOK- 7506粒	茎葉	+25~30 一年生非イネ科及 び(ホタルイ, ウ リカワ) 発生盛~揃	⊕ 300~400	埴土~埴土 (1.5cm/日以下)	寒冷地, 温暖 地の普通期	前処理剤と組み合 わせて使用する
	NIP・Q粒	土壌	田植前後土壌処理 した場合 +10~+15 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300~400	埴土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地	前処理剤との組み 合わせて使用する
	(G-315)→ MCC・M 粒	茎葉兼 土壌	田植前後土壌処理 した場合 +20~+25 (ノビエ2ℓ) ヘラオモダカ, ホタ ルイ, ミズガヤツリ 発生始~盛期	⊕ 300~400	埴土~埴土 (2cm/日以下)	寒地, 寒冷地	前処理剤との組み 合わせて使用する

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適 用 地 帯	使用上の注意
Ⅱ- (1) 稚 苗 移 植 栽 培 土 壌 混 和 処 理	NK-049 ・S 粒	土壌混和	植代直前直後 (-3~-2)	⊕ 400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地西部の 普通期	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	G-315 ・B 乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	50cc	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 暖地の早期	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	G-315乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	⊕ 50cc	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	1) 混和時の水深 3~5cm
					壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地以西の 早期(九州除 く)	2) 混和深度 2~3cm
	X-52・ K 粒	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1) 植代直後のみ (-3~-1)	⊕ 400~500	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期, 早期 寒 地	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	B-3015 乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1) 植代直後のみ (-3~-1)	⊕ 80~120	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期 寒 地	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	B-3015 ・K 乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	⊕ 50~75cc	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期及び暖 地の早期	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
Ⅱ- (2) 稚 苗 移 植 栽 培 移 植 前 後 土 壌 処 理	NTN-72 ・K 乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	⊕ 100~ 120cc	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地以西の 普通期	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	MS-8 粒	土 壤	-3~+7 (ノビエ1ℓまで) ホタルイ, 発生始	⊕ 300	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒 冷 地	
			+0~+7 (ノビエ1ℓまで)			温暖地東部の 普通期	
	MTS-1粒	土 壤	-3~+7 (ノビエ1ℓまで) ホタルイ 発生始まで	⊕ 300	壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	
						寒 冷 地	
	NTN-72 ・K 粒	土 壤	-3~+3 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地以西の 普通期	

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
Ⅱ一(2) 稚苗移植栽培→移植前後土壌処理(つつき)	モリネート・ K 粒	土 壌	-3~-2 +3~+6	⊕ 300	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地以西の 普通期	
	X-52・ KUE 粒	土 壌	-3~+6 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地以西の 普通期	
	SST-5粒	土 壌	+3~+5 (ノビエ1ℓまで) ホタルイ発生始を も含める	⊕ 300~400	埴土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 寒地, 寒冷地	
	ブタクロール 25 粒	土 壌	-3~+3	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期 温暖地東部の 早期	コナギ多発田での 使用はさける
			+0~+3	⊕ 300		寒 地	
Ⅱ一(3) 稚苗移植栽培→移植後土壌処理	X-52・B 粒	土 壌	+7~ノビエ2ℓ まで(+12頃) 但し, 寒地は+7 ~ノビエ1.5ℓま で(+15頃)	⊕ 300~400	埴土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	
			ホタルイ 発生始~1ℓ			寒地, 寒冷地	
	X-52・ AM 粒	土 壌	+8~ノビエ1.5 ℓ(+10頃)	⊕ 300	埴土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地西部以 西の普通期 (温暖地西部 の早植, 高冷 地は除く)	
	MT・B- 3015 粒	土 壌	+5~ノビエ1.5 ℓまで(+10頃)	⊕ 300~400	埴土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期	
			ホタルイ 発生始~2ℓ			寒 冷 地	
	KH-183 粒	土 壌	+5~ノビエ1.5 ℓまで(+10頃) 但し寒地は+10 ~ノビエ1.5ℓま で(+15頃)	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	
			ホタルイ発生前~始 ヘラオモダカ発生前			寒地, 寒冷地	
	ブタクロール 5.0 粒	土 壌	+4~ノビエ1.5 ℓ(+10頃) ホタルイ2ℓまで ミズガヤツリ 発生始~3ℓ	⊕ 300	埴土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
Ⅱ-4) 稚 苗 移 植 栽 培 茎 葉 兼 土 壤 処 理	X-52・A M・BAS粒	茎 葉 兼 土 壤	+7〜ノビエ1.5ℓ (+10頃) ウリカワ 発生始〜盛期	⊕ 300〜400	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	温暖地西部以 西の普通期	
	モリネート・ KM 粒	茎 葉 兼 土 壤	+10〜ノビエ2 5ℓ (+15頃) ホタルイ 発生始〜盛期	⊕ 300	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期 寒 冷 地	
	モリネート・ SM 粒	茎 葉 兼 土 壤	+1.5〜ノビエ 3.5ℓ ウリカワ 発生盛〜揃期	⊕ 300〜400	砂壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒冷地, 温暖 地の普通期 温暖地東部の 早期	
	モリネート・ K・BAS粒	茎 葉 兼 土 壤	+7〜ノビエ2.5ℓ (+15頃) ミズガヤツリ 発生盛〜4.5ℓ ホタルイ 発生始〜盛	⊕ 300〜400	砂壤土〜埴土 (1.5cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期 温暖地東部の 早期, 温暖地 以西の普通期 寒 冷 地	
	モリネート・ M・BAS粒	茎 葉 兼 土 壤	+10〜ノビエ2 ℓまで ホタルイ 発生盛〜揃 ウリカワ4〜5ℓ	⊕ 300〜400	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒 冷 地	
	NTN-72 ・K 粒	茎 葉 兼 土 壤	+7〜ノビエ1.5ℓ (+10頃)	⊕ 300	砂壤土〜埴土 (2cm/日以下) 埴土〜埴土 (2cm/日以下)	温暖地以西の 普通期 寒 冷 地	
	NTN-72 ・K・X 粒	茎 葉 兼 土 壤	+7〜ノビエ1.5ℓ ヘラオモダカ, ホタ ルイ 発生始〜盛 ミズガヤツリ 発生始〜2ℓ	⊕ 300〜400	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒地, 寒冷地	
	NH-703 粒	茎 葉 兼 土 壤	+5〜ノビエ2ℓ まで (+12頃) 但し温暖地東部は +9〜ノビエ2ℓ まで	⊕ 300〜400	砂壤土〜埴土 (2cm/日以下)	温暖地以西の 普通期	
	B-3015 ・BAS 粒	茎 葉 兼 土 壤	+8〜ノビエ1.5ℓ ホタルイ 始〜4ℓ ウリカワ 3〜5ℓ	⊕ 300〜400	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期 寒 冷 地 暖地の普通期	

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
Ⅱ- (4) 稚 苗 移 植 栽 培 — 茎 葉 兼 土 壌 処 理 (き)	B-3015 ・K 粒	茎 葉 兼 土 壌	+7~ノビエ2ℓ (+12頃)	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期	
	新B-301 5・S 粒	茎 葉 兼 土 壌	+8~ノビエ25ℓ (15頃) 寒地は20ℓ (+15頃)	⊕ 300	埴土~埴土 (極端な漏水田は 除く)	温暖地以北の 普通期, 早期	※シメトリン シメトリン混合剤 の使用上の注意を まもる
	CG-102 5.5 粒	茎 葉 兼 土 壌	+8~ノビエ25ℓ (+15頃) 但し寒冷地は, +10~ノビエ25 ℓ (20頃) ヘラオモダカ 発生盛	⊕ 300	埴土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期, 暖地 の早期 寒 冷 地	
	TH-63粒	茎 葉 兼 土 壌	+8~ノビエ25ℓ (+15頃) 但し寒冷地は, +10~25ℓ (+20頃) ホタルイ 始~5ℓ ウリカワ 4~5ℓ ミズガヤツリ盛~揃 ヘラオモダカ始~盛	⊕ 300	埴土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期, 早期 寒 冷 地	
	B-3015 ・S・BAS 粒	茎 葉 兼 土 壌	+8~ノビエ25ℓ (+15頃) 但し寒冷地は, +10~25ℓ (+20頃) ミズガヤツリ盛~揃 ウリカワ 盛~揃 ホタルイ 盛~揃	⊕ 300	埴土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地, 温暖 地の普通期 温暖地東部の 早期 温暖地西部の 普通期 寒 冷 地	
Ⅱ- (5) 稚 苗 移 植 栽 培 — 適 用 拡 大	CG-102 5.5 粒	茎 葉 兼 土 壌	田植前後に土壌処 理した場合 +15~25 (ノビエ25ℓまで) ヘラオモダカ 発生始~盛	⊕ 300~400	埴土~埴土 (2cm/日以下)	寒 冷 地	前処理剤との組み 合わせで使用する
	ブタクロール S 粒	茎 葉 兼 土 壌	田植前後土壌処理 した場合, +20 ~25(2ℓまで) ヘラオモダカ, ホタルイ 2ℓまで	⊕ 300~400	埴土~埴土 (2cm/日以下)	寒地, 寒冷地	前処理剤との組み 合わせで使用する

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
Ⅱ-⑤ 稚 苗 移 植 栽 培 — 適 用 拡 大 (つづき)	モリネート SM粒	茎 葉 兼 土 壤	田植前後土壌処理 した場合 +25~30 (ノビエ35ℓまで) ヘラオモダカ, オ モダカ 3~4ℓ	㊥ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒 冷 地	前処理剤との組み 合せて使用する
	KH-159 粒	土 壤	田植前後土壌処理 した場合 +10~+15 (ノビエ1ℓまで)	㊥ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期	前処理剤との組み 合せて使用する
			ホタルイ 発生始~盛期			寒 冷 地	
			ウリカワ2~3ℓ			暖 地	
	ブタクロール 5.0 粒	土 壤	田植前後土壌処理 した場合+15~ +20(1.5ℓ)まで ホタルイ2ℓまで ミズガヤツリ 3ℓまで	㊥ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒地, 寒冷地	前処理剤との組み 合せて使用する
	B-3015 ・S 粒	茎 葉 兼 土 壤	田植前後土壌処理 した場合 +15~25 (ノビエ20ℓまで)	㊥ 300~400 寒地は 300	砂壤土~埴土 (極端な漏水田は さける)	全域の普通期 早期	前処理剤との組み 合せて使用する
	NIP・Q粒	土 壤	田植前後土壌処理 した場合 +15~25 (ノビエ1ℓ)	㊥ 300	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒 冷 地	前処理剤との組み 合せて使用する
	(X-52)→ X-52・AM 粒	土 壤	田植前後土壌処理 した場合 +10~15 (ノビエ1.5ℓ) 但し寒地, 寒冷地 では+20~30 (ノビエ1ℓまで)	㊥ 300	壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	全域の普通期 (温暖地西部 の早植, 高冷 地は除く)	前処理剤との組み 合せて使用する
	(X-52)→ AM 粒	茎 葉 兼 土 壤	田植前後土壌処理 した場合 +15~ ウリカワ 4.5ℓまで	㊥ 300~400	壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	温暖地西部以 西の普通期, 早期	1) ウリカワ多発 田を対象とする 2) 前処理剤との 組み合せて使用 する
	MCP・BA S 粒	茎 葉 兼 土 壤	MCPに準ずる (一年生非イネ科 ミズガヤツリ, ウリ カワ, ホタルイ)	㊥ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒 冷 地	前処理剤との組み 合せて使用する

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
Ⅱ一(5) 稚 苗 移 植 栽 培 適 用 拡 大 (つづき)	MCP・BAS 水和	茎 葉 土 壤	MCPに準ずる (一年生非イネ科 ウリカワ、ミズガ ヤツリ)	⊕ 100cc	全 土 壤	温暖地東部の 普通期	1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する 2) 落水茎葉処理 する
	2,4PA・BAS 粒	茎 葉 兼 土 壤	2,4PA 処理に 準ずる。 (一年生非イネ科 ミズガヤツリ)	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	暖地の普通期	前処理剤との組み 合わせで使用する
	2,4PA・BAS 水和	茎 葉	2,4PA 処理期 に準ずる。 (一年生非イネ科 ウリカワ)	⊕ 100cc	全 土 壤	温暖地東部の 普通期	1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する 2) 落水茎葉処理 する
	シメトリン・MCPB 粒	茎 葉 兼 土 壤	田植前後土壌処理 した場合 +20~25 (ノビエ2ℓまで) ウリカワ 発生揃~4.5ℓ	⊕ 300	壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地の普通 期 温暖地東部の 普通期、早期	前処理剤との組み 合わせで使用する
	HOK-75 05 粒	茎 葉 兼 土 壤	田植前後土壌処理 した場合 +20~25 (ノビエ2ℓまで)	⊕ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地東部の 普通期、早期	前処理剤との組み 合わせで使用する
Ⅲ一(1) 湛 水 直 播	G-315乳	土壌混和	播 種 前 -4~-3 植代直後	⊕ 33~50cc	壤土~埴土 (極端な漏水田は さける)	温暖地西部以 西 寒 冷 地	 保温折衷直播
	B-3015 乳	土 壤	播 種 前 -2 播 種 後 +10頃 (ノビエ0.5ℓまで)	⊕ 60	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒 地	他は前年度使用規 準通り
	B-3015 粒	土 壤	播 種 前 -2 播 種 後 +10頃 (ノビエ0.5ℓ)	⊕ 300	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒 地	他は前年度使用規 準通り
	モリネート・K 粒	茎 葉 兼 土 壤	播 種 後 7日~10日 (イネ1.5ℓ以后 ノビエ2ℓまで、 コナギ3ℓまで)	⊕ 300	埴壤土~埴土 (1cm/日以下)	暖 地	

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
Ⅲ-② 乾 田 直 播	モリネート SM 粒	茎 葉 兼 土 壌	入 水 後 15日前後 ノビエ35ℓまで	㊥ 300~400	壤土~埴土 (3cm/日以下)	暖 地	1) 漏水が安定し てから処理する 2) シメトリン、 シメトリン混合 剤の使用上の注 意をまもる
	BAS-35 10 水和	茎 葉	入 水 後 ミズガヤツリ 4~6ℓ	㊥ 60~120	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	寒冷地南部、 温暖地	
Ⅳ 畦 畔	Y-47H 水和	土 壌	雑草発生前 ~発生盛期	㊥ 100~150	全 土 壤	寒冷地以西	1) ノリ面散布は さける 2) 稲体にかから ぬようにする 3) 流入による薬 害のおそれをな くする
	DPA・DC MU・MCP 粒	土 壌	雑草発生前 ~発生始	㊥ 500~800	全 土 壤	全 域	1) ノリ面散布は さける 2) 稲体にかから ぬようにする 3) 流入による薬 害の恐れをなく す
Ⅴ 休 耕 田	塩素酸ソーダ (デソレートA) 粉	茎 葉 兼 土 壌	雑草生育期 (6~7月)	1200 ~1600	全 土 壤	温暖地東部	一年生を主体とし 年内に作付しない 水田
	DPA・DC MU・MCP 粒	土 壌	キシユウスズメノ ヒエの発生前又は 再生前	㊥ 1000 ~1500	全 土 壤	暖 地	キシユウスズメノ ヒエ多発田で年内 に作付をしない水 田
Ⅵ 耕 起 前	MON-39 乳	茎 葉	耕 起 前 30~40日	㊥ 50~ 100CC	全 土 壤	寒冷地以西	1) イネ科優占圃 場 2) 稀釈水量2ℓ /a以上で茎葉 にムラなく散布 する